

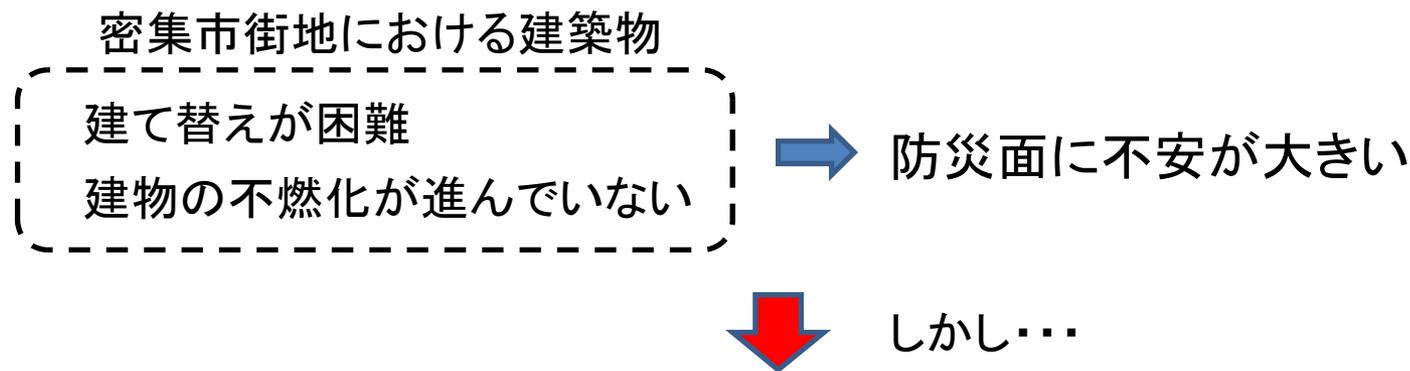
密集市街地における火災による空間更新プロセスの課題

ー別府市光町におけるケーススタディーー

佐藤誠治 建築・都市計画研究室

0756012 岩谷直樹

研究の背景



住民の自治意識や連携は、新しい市街地よりも強固である

研究対象地

別府市光町・末広町

2010年1月13日夜に火災が発生し、民家や公民館など**23棟**が全焼

→ 「共同温泉」という**地域のコミュニティの場**も焼失

密集市街地において住民同士のコミュニティを生み出す空間

被災時における減災のためにも重要な役割を担うもの

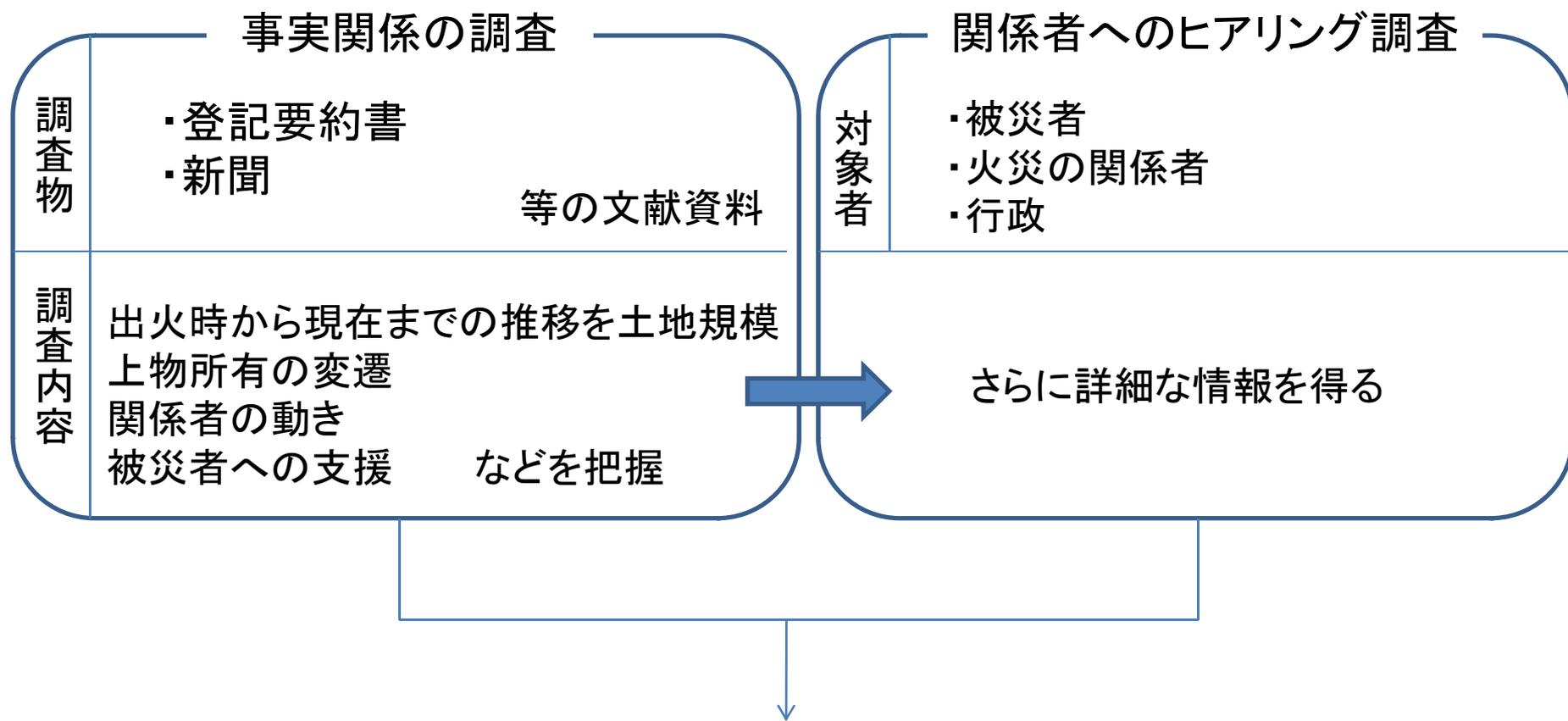
研究の目的

1. 路地空間・温泉などの**住民同士のコミュニティの場が、**
災害によりどのように変化したかを明らかにする
2. **災害時の復興プロセスを整理し、**そこから見える問題を明らかにする



密集市街地における、再建プロセス上の課題を把握

研究の方法



以上の調査から得られた情報を年表や地図上に整理し、考察を加える。

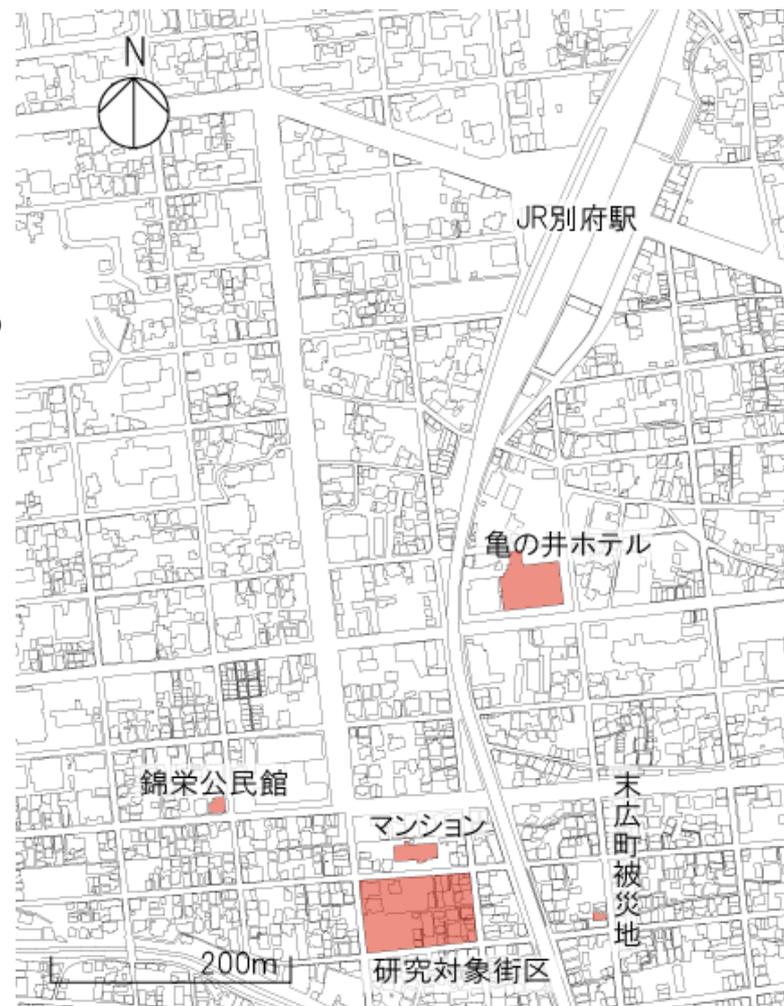
本研究の対象街区

別府市光町地区

- ・別府駅から南南西約500mに位置している
- ・街区の周囲を幅員6mの道路に囲まれている
- ・焼失以前は戦前からの木造住宅が
密集していた
- ・別府市より準防火地域に指定されている

【準防火地域】

都市計画法第9条20項において「市街地における火災の危険を防除するため定める地域」として、また、建築基準法および同法施行令において具体的な規制が定められた地域



研究対象街区概要地図

火災から1週間後(2010年1月20日)の研究対象街区

別府市光町・末広町火災の概要

	被災件数	全焼	部分焼*	ぼや**	水損被害***
棟数	38棟(約2,800m ²)**	23棟	5棟	7棟	3棟
世帯数	46世帯	30世帯	5世帯	8世帯	3世帯
被災者	89人(1人)*****	55人	13人	13人	8人

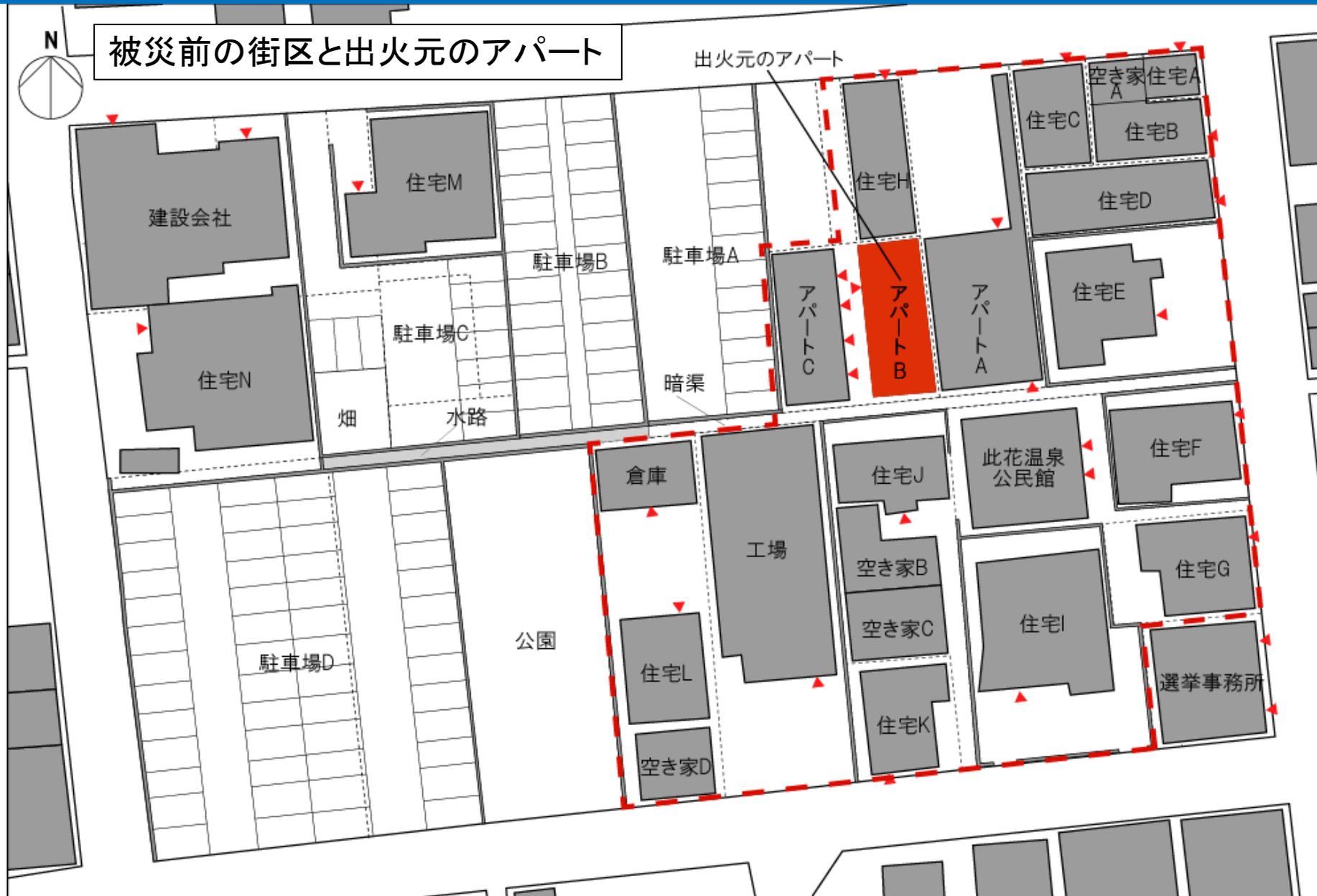
* 部分焼: 損害額が建物評価額の20%未満の被害、** ぼや: 焼失面積1㎡以下の被害、*** 水損被害: 放水などによる室内への被害、**** 焼失面積、***** 死者数



2010年2月現在の
研究対象街区



第2章 大火による研究対象街区の変化

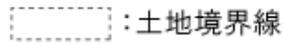


20m

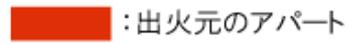
凡例



: 大火の範囲



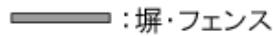
: 土地境界線



: 出火元のアパート



: 出入口



: 塀・フェンス



第2章 大火による研究対象街区の変化

再建上の問題を抱えていた土地

地域のコミュニティの場であった此花温泉の敷地・建築基準法第42条に定められている**接道義務**(幅員4m以上の道路に2m以上接道する必要がある)を満たしていなかった。

自治会による近隣住民との土地交渉により解決



20m

凡例



: 土地境界線



: 此花温泉・公民館再建予定地



: 自治会が購入した土地



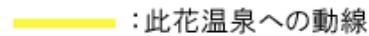
: 再建予定の敷地



: 交渉した土地



: 自治会が譲ってもらった土地



: 此花温泉への動線

第2章 大火による研究対象街区の変化



凡例  :再建途中の建物

 :再建した建物

 :大火の範囲

 :焼失した建物

 :新たに舗装した土地

 :土地境界線

ヒアリング調査の概要

計16名

調査対象者	被災者11名、復興支援に携わった関係者2名、行政の担当者3名
調査内容	被災以前の街区の状況、住民同士の交流、復興の経緯、復興に際した行政・民間の支援など
調査期間	2010年12月～2011年2月

第3章 研究対象街区の復興プロセス



復興プロセスにおける主体別の動向

被災者

- ・出火してからすぐには
今後のことを「協議」する機会がなかった

1月26日(出火から約2週間後)

日付	被災者	自治会	市	復興
2004.1.26	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.1.27	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.1.28	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.1.29	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.1.30	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.1	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.2	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.3	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.4	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.5	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.6	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.7	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.8	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.9	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.10	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.11	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.12	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.13	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.14	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.15	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.16	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.17	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.18	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.19	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.20	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.21	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.22	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.23	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.24	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.25	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.26	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.27	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.28	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.2.29	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.1	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興

光町1区自治会の緊急役員会

※此花温泉の再建や、焼跡の瓦礫処理について

自治会から15人、市から8人が出席

日付	被災者	自治会	市	復興
2004.3.1	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.2	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.3	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.4	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.5	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.6	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.7	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.8	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.9	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.10	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.11	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.12	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.13	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.14	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.15	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.16	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.17	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.18	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.19	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.20	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.21	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.22	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.23	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.24	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.25	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.26	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.27	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.28	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.29	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興
2004.3.30	大津市東区 被災者	光町1区自治会	大津市	復興

凡例

火災と復興の主な経緯 協議

行事 連絡 経過

支援

- 市への義援金
- 物資の支援
- 住居の支援
- 自治会への温泉復興寄付金
- 人的な支援
- 制度の支援

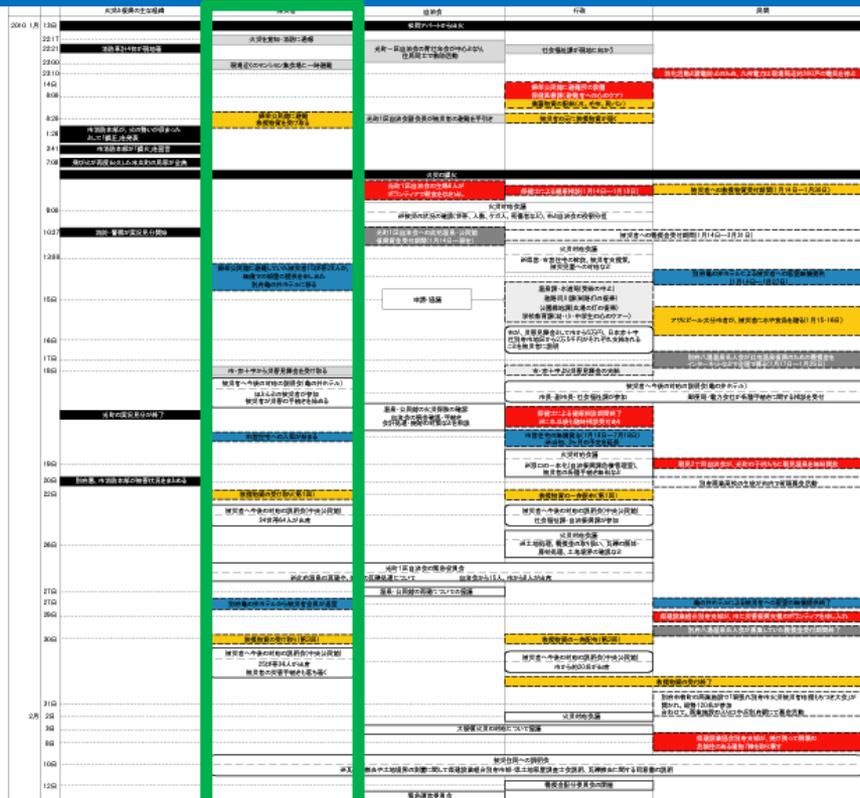


復興プロセスにおける主体別の動向

被災者

- ・出火してからすぐには
今後のことを「協議」する機会がなかった
- ・**瓦礫の撤去から再建までの動きが早く、**
早い段階での再建を望んでいた

3月30日



光町分の瓦礫の撤去作業完了

凡例

火災と復興の主な経緯 協議

行事 連絡 経過

支援

- 市への義援金 物資の支援
- 住居の支援 自治会への温泉復興寄付
- 人的な支援 制度の支援

4月3日

光町1区の更地となった一画で、
 再建に向けた初めての地鎮祭が行われた



復興プロセスにおける主体別の動向

自治会

・自治会は**此花温泉の復興**を中心に活動している
1月14日



火災対応会議

※被災の状況の確認(世帯、人数、ケガ人、死傷者など)、市と自治会の役割分担

1月26日



光町1区自治会の緊急役員会

※此花温泉の再建や、焼跡の瓦礫処理について

自治会から15人、市から8人が出席

2月16日



凡例

火災と復興の主な経緯 協議

行事 連絡 経過

支援



此花温泉・公民館の再建についての協議

自治会長・市役所・温泉課・生涯学習課・自治振興課が出席



復興プロセスにおける主体別の動向

自治会

・自治会は**此花温泉の復興**を中心に活動している

・被災者と行政の間に入った活動

1月26日

Timeline for January 26th (1月26日):

- 15:00 復興協議会(仮)開催
- 15:15 復興協議会(仮)開催
- 15:20 復興協議会(仮)開催
- 15:30 復興協議会(仮)開催
- 15:40 復興協議会(仮)開催
- 15:50 復興協議会(仮)開催
- 16:00 復興協議会(仮)開催
- 16:10 復興協議会(仮)開催
- 16:20 復興協議会(仮)開催
- 16:30 復興協議会(仮)開催
- 16:40 復興協議会(仮)開催
- 16:50 復興協議会(仮)開催
- 17:00 復興協議会(仮)開催
- 17:10 復興協議会(仮)開催
- 17:20 復興協議会(仮)開催
- 17:30 復興協議会(仮)開催
- 17:40 復興協議会(仮)開催
- 17:50 復興協議会(仮)開催
- 18:00 復興協議会(仮)開催

光町1区自治会の緊急役員会

※此花温泉の再建や、焼跡の瓦礫処理について

自治会から15人、市から8人が出席

2月10日

Timeline for February 10th (2月10日):

- 15:00 復興協議会(仮)開催
- 15:10 復興協議会(仮)開催
- 15:20 復興協議会(仮)開催
- 15:30 復興協議会(仮)開催
- 15:40 復興協議会(仮)開催
- 15:50 復興協議会(仮)開催
- 16:00 復興協議会(仮)開催
- 16:10 復興協議会(仮)開催
- 16:20 復興協議会(仮)開催
- 16:30 復興協議会(仮)開催
- 16:40 復興協議会(仮)開催
- 16:50 復興協議会(仮)開催
- 17:00 復興協議会(仮)開催
- 17:10 復興協議会(仮)開催
- 17:20 復興協議会(仮)開催
- 17:30 復興協議会(仮)開催
- 17:40 復興協議会(仮)開催
- 17:50 復興協議会(仮)開催
- 18:00 復興協議会(仮)開催

被災住民への説明会

※瓦礫の撤去や土地境界の測量に関して県建設業組合別府市部、県土地家屋調査士会説明、瓦礫撤去に関する同意書の説明

凡例

火災と復興の主な経緯 協議

行事 連絡 経過

支援



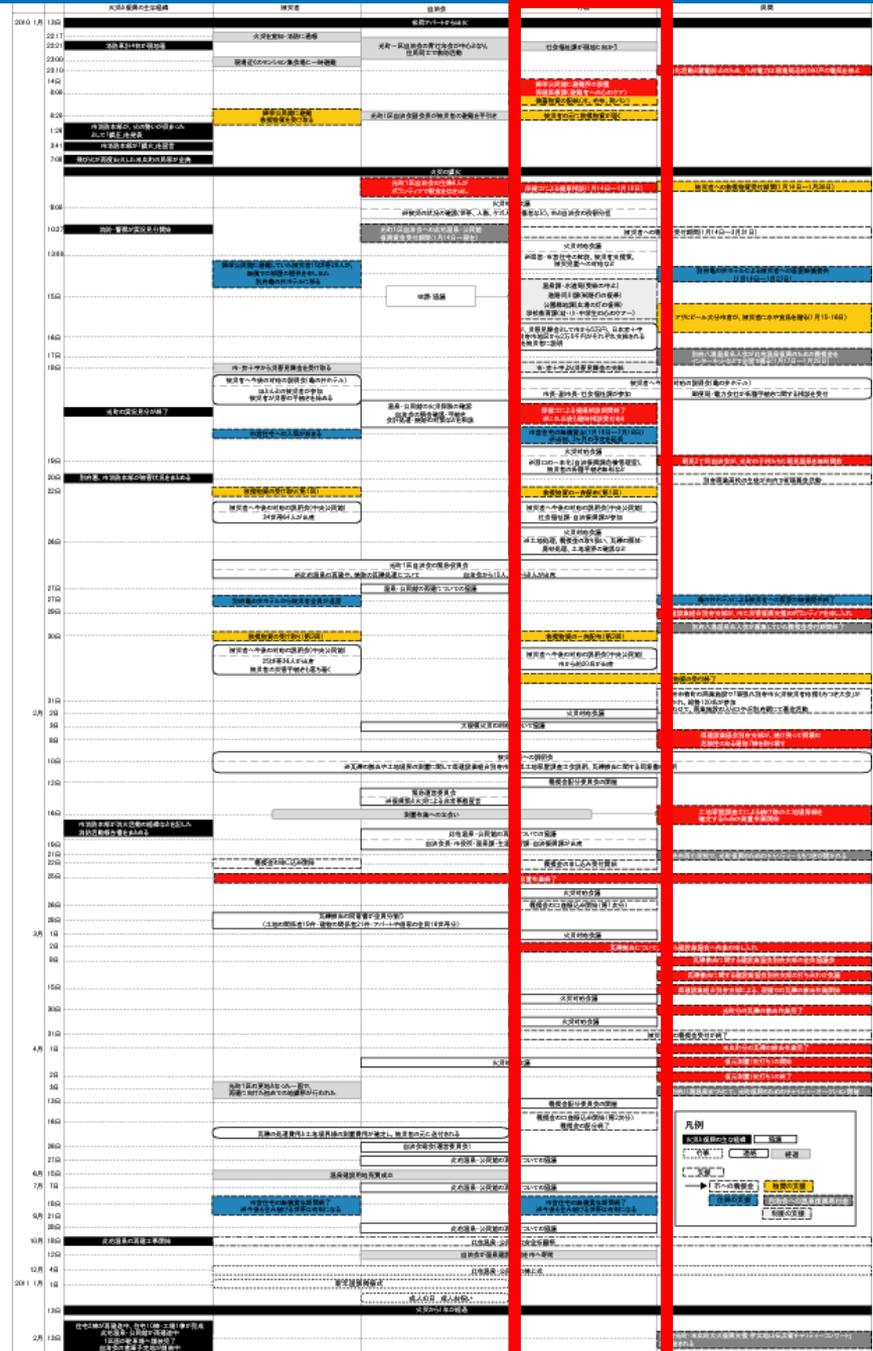
Timeline for the explanation meeting (2月10日):

- 15:00 復興協議会(仮)開催
- 15:10 復興協議会(仮)開催
- 15:20 復興協議会(仮)開催
- 15:30 復興協議会(仮)開催
- 15:40 復興協議会(仮)開催
- 15:50 復興協議会(仮)開催
- 16:00 復興協議会(仮)開催
- 16:10 復興協議会(仮)開催
- 16:20 復興協議会(仮)開催
- 16:30 復興協議会(仮)開催
- 16:40 復興協議会(仮)開催
- 16:50 復興協議会(仮)開催
- 17:00 復興協議会(仮)開催
- 17:10 復興協議会(仮)開催
- 17:20 復興協議会(仮)開催
- 17:30 復興協議会(仮)開催
- 17:40 復興協議会(仮)開催
- 17:50 復興協議会(仮)開催
- 18:00 復興協議会(仮)開催

復興プロセスにおける主体別の動向

行政

- ・火災の鎮火後、すぐに対策会議を開くなど、**迅速な対応**に努めている
- ・4主体の中では、**最も継続的に活動**がなされており、他の主体との関わりも多い



凡例

火災と復興の主な経緯 協議

行事 連絡 経過

支援

市への義援金 物資の支援

住居の支援 自治会への温泉復興寄付金

人的な支援 制度の支援

凡例

火災と復興の主な経緯 協議

行事 連絡 経過

支援

市への義援金 物資の支援

住居の支援 自治会への温泉復興寄付金

人的な支援 制度の支援

復興プロセスにおける主体別の動向

民間

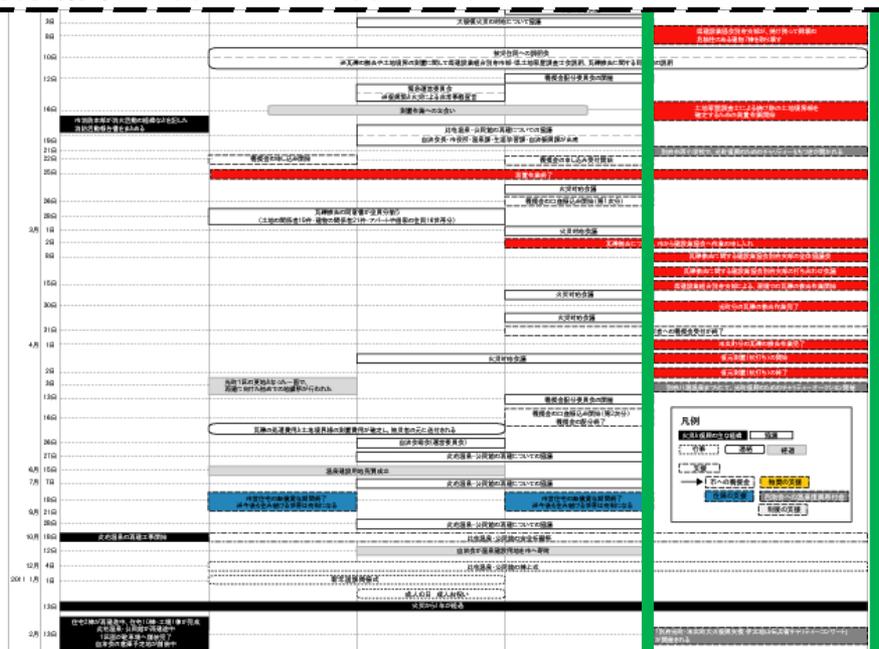
- ・当初は**義援金**や**救援物資**を贈ることが中心であった



被災者への救援物資受付期間(1月14日～1月30日)



被災者への義援金受付期間 (1月14日～3月31日)



凡例

火災と復興の主な経緯

協議

行事

連絡

経過

支援

市への義援金

物資の支援

住居の支援

自治会への温泉復興寄付金

人的な支援

制度の支援

凡例

火災と復興の主な経緯

協議

行事

連絡

経過

支援

市への義援金

物資の支援

住居の支援

自治会への温泉復興寄付金

人的な支援

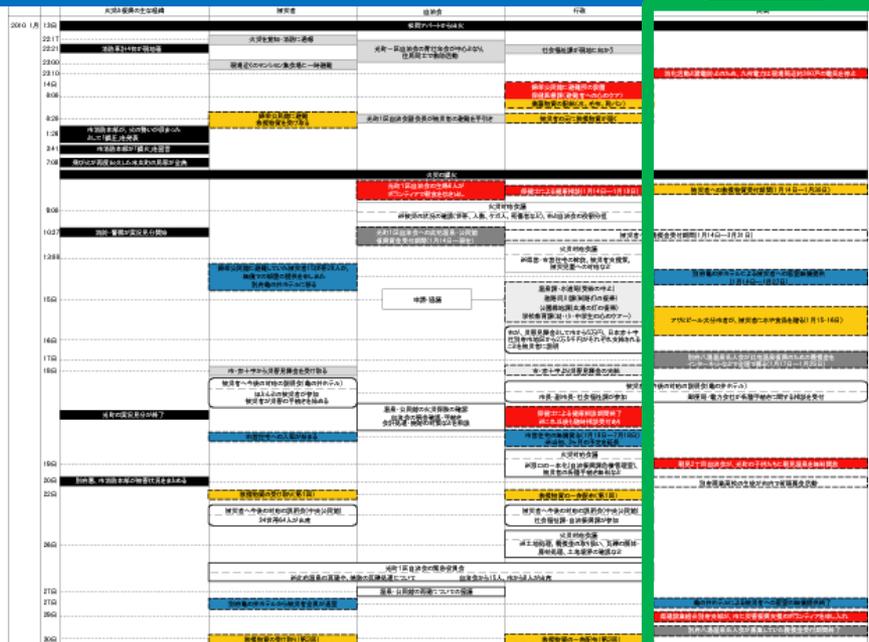
制度の支援

復興プロセスにおける主体別の動向

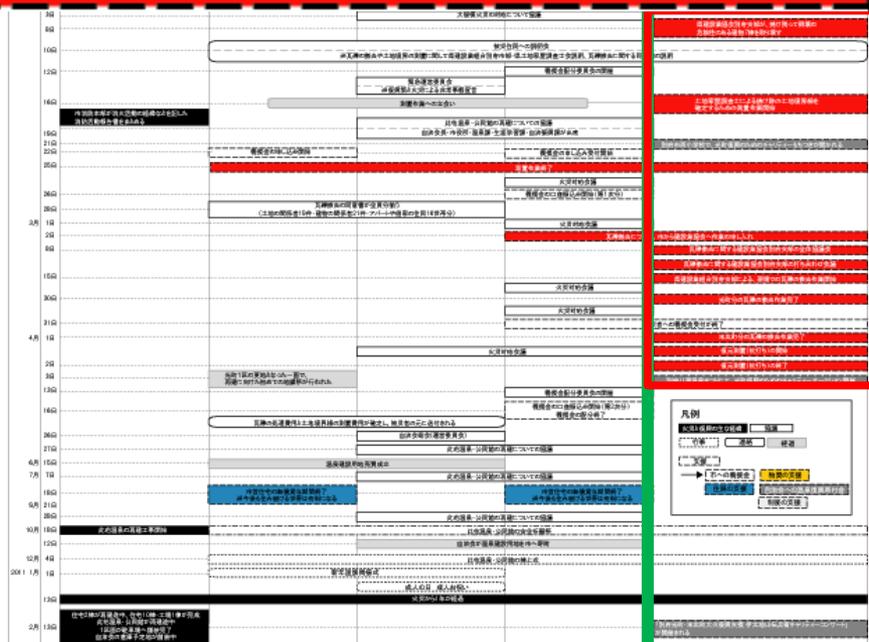
民間

- ・当初は**義援金**や**救援物資**を贈ることが中心であった
- ・火災後の**瓦礫撤去**により、**円滑な再建**に大きく寄与

3月15日



県建設業組合別府支部による、現場での瓦礫の撤去作業開始



凡例

火災と復興の主な経緯 協議

行事 連絡 経過

支援

- 市への義援金 物資の支援
- 住居の支援 自治会への温泉復興寄付金
- 人的な支援 制度の支援

凡例

協議 連絡 経過

→ 市への義援金 物資の支援

住居の支援 自治会への温泉復興寄付金

人的な支援 制度の支援

本研究から判明した、光町地区の復興プロセスの特徴

1. 路地空間・温泉などの住民同士のコミュニティの場が火災により喪失したことで、
住民同士の交流の場が失われた。
2. 地域のコミュニティの場であった温泉は再建できない可能性があった。
3. 民間団体の協力による瓦礫撤去など、スムーズな再建には偶発的な要素が大きかった
4. 住民同士による再建にむけた早期の協議が行えなかったことから、
復興のためのシミュレーションや情報の準備ができなかった。
5. 住民同士の普段からの交流関係が被害者を最小限に留めることに役立った。

光町地区の復興プロセスの特徴から学ぶべき課題

① 迅速な復興を可能にする手続きや取り組みの計画

➡ 行政や専門家が積極的に再建に関わることができるような仕組みづくり

② 早期の協議確保と綿密な情報提供

➡ 被災後、住民同士が早期に今後の方針を決める機会や情報の提供

③ 人的被害を最小限にとどめる地縁関係の育成

➡ 住民同士の日頃からの付き合いの度合いが緊急時の避難などを左右する

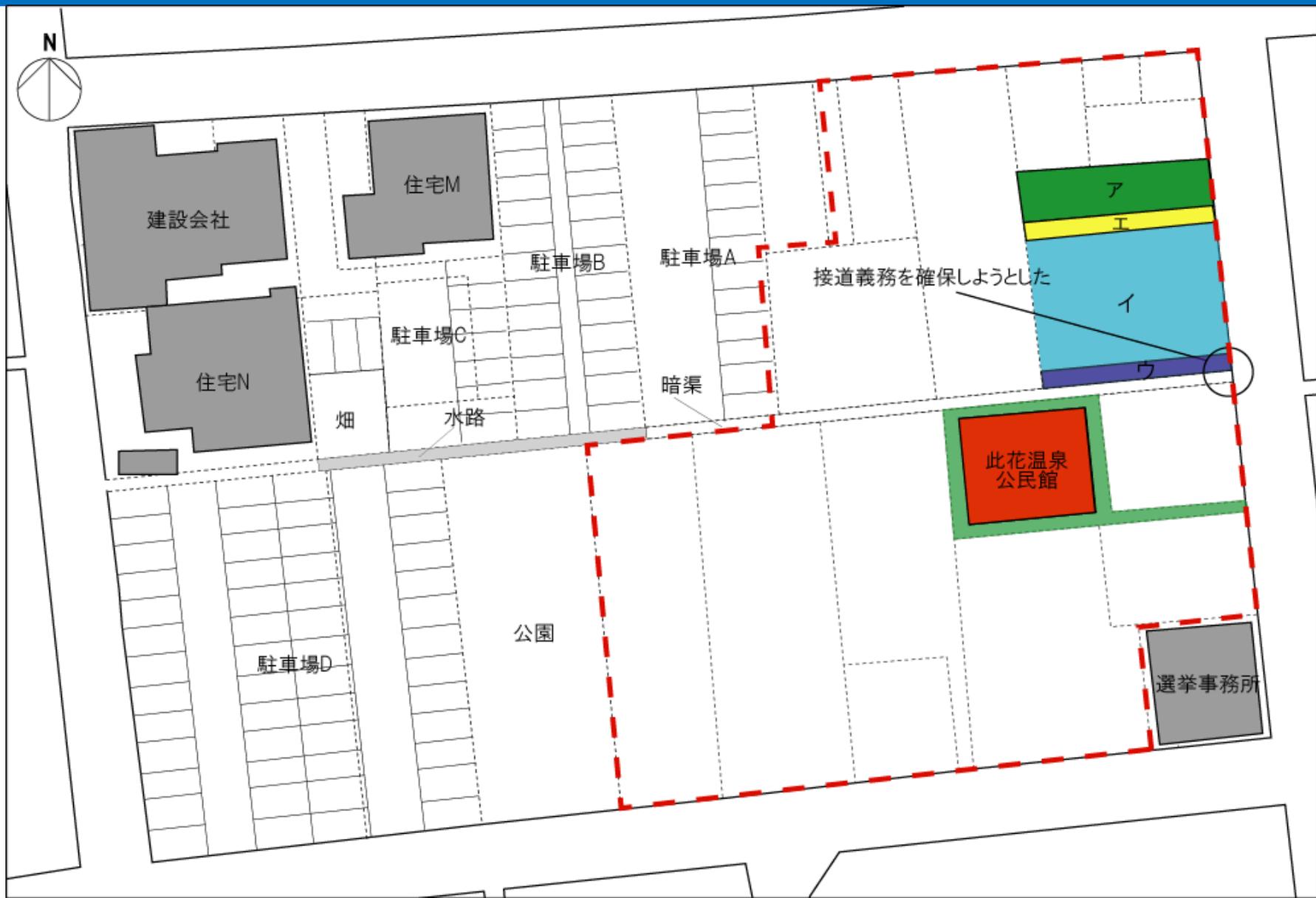
発表は以上です。

ご静聴ありがとうございました。

光町地区の復興プロセスの特徴

- ①日頃より各世帯構成の把握ができていたことなどから、**死者1名にとどまったこと。**
- ②民間団体の協力により、**再建に円滑に着手できたこと**
- ③行政や民間からの多岐に渡る**「支援」**が現在まで継続的に行われていること。

			被災後							
			光町に帰ってきた				光町に帰ってきていない			
			戸建		共同住宅 アパート	仕事場	戸建		共同住宅	
			持家	賃貸			仕事場	持家	賃貸	アパート
被災前	戸建	持家	5 n-1、n-3、n-5、n-8、n-11	-	-	-	-	-	-	-
		賃貸	-	1 n-6	-	-	-	-	-	1 n-10
	共同住宅	アパート	-	-	-	1 n-4	-	-	-	1 n-7
		仕事場	-	-	1 n-2	-	1 n-9	-	-	-



- 凡例
- : 土地境界線
 - : 此花温泉・公民館再建予定地
 - : 自治会が購入した土地
 - : 再建予定の敷地
 - : 交渉した土地
 - : 譲ってもらおうとした土地
 - : 自治会が譲ることを提案した土地

		火災と復興の主な経緯	被災者	自治会	行政	民間	
2010 1月	13日			松岡アパートから出火			
	22:17		火災を覚知・消防に通報				
	22:21	消防車計4台が現地着		光町一区自治会の青壮年会が中心となり、住民同士で救助活動	社会福祉課が現地向かう		
	23:00		現場近くのマンション集合場に一時避難				
	23:10					消化活動と漏電防止のため、九州電力は現場周辺約300戸の電気を停止	
	14日				錦栄公民館に避難所の設置 備蓄物資の配給(水、毛布、乾パン) 保健医療課(避難者への心のケア)		
	0:00						
	0:20		錦栄公民館に避難 救援物資を受け取る	光町1区自治会副会長が被災者の避難を手引き	被災者の元に救援物資が届く		
	1:26	市消防本部が、火の勢いが収まったとして「鎮圧」を発表					
	3:41	市消防本部が「鎮火」を宣言					
	7:08	飛び火が再度出火した未広町の民家が全焼					
				火災の鎮火			
				光町1区自治会の主婦6人がボランティアで朝食を炊き出し	保健士による健康相談(1月14日～1月18日)	被災者への救援物資受付期間(1月14日～1月30日)	
	9:00			火災対応会議 ※被災者の状況の確認(世帯、人数、ケガ入、死傷者など)、市と自治会の役割分担			
10:27	消防・警察が実況見分開始		光町1区自治会への此花温泉・公民館復興資金受付期間(1月14日～現在)		被災者への義援金受付期間(1月14日～3月31日)		
13:00		錦栄公民館に避難していた被災者15世帯28人が、無償での部屋の提供を申し出た別府亀の井ホテルに移る		火災対応会議 ※県営・市営住宅の斡旋、被災者支援策、被災児童への対応など	別府亀の井ホテルによる被災者への客室無償提供(1月14日～1月27日)		
15日			申請・協議	温泉課・水道局(受給の中止) 道路河川課(街路灯の復帰) 公園緑地課(広場の灯の復帰) 学校教育課(幼・小・中学生の心のケア)	アサヒビール大分市が、被災者に水や食品を贈る(1月15・16日)		
16日				市が、災害見舞金として市から5万円、日本赤十字社別府市地区から2万5千円がそれぞれ支給されることを被災者に説明			
17日					別府八湯温泉名人会が此花温泉復興のための義援金をインターネットなどで全国で募る(1月17日～1月29日)		
18日		市・赤十字から災害見舞金を受け取る		市・赤十字より災害見舞金の支給			
		被災者へ今後の対応の説明会(亀の井ホテル) ほとんどの被災者が参加 被災者が災害の手続きを始める			被災者へ今後の対応の説明会(亀の井ホテル) 市長・副市長・社会福祉課が参加 郵便局・電力会社が各種手続きに関する相談を受付		
	光町の実況見分が終了		温泉・公民館の火災保険の確認 自治会の預金確認・手続き 会計処理・焼跡の対策などを相談	保健士による健康相談期間終了 ※これ以後も随時相談受付あり			
		市営住宅への入居が始まる		市営住宅の無償貸与(1月18日～7月18日) ※当初、3ヶ月の予定を延長			
19日				火災対応会議 ※窓口の一木化(自治振興課危機管理室)、被災者の各種手続き無料など	朝見2丁目自治会が、光町の子供たちに朝見温泉を無料開放		
20日	別府署、市消防本部が被害状況をまとめる				別府商業高校の生徒が市内で街頭募金活動		
22日		救援物資の受け取り(第1回)		救援物資の一斉配布(第1回)			
		被災者へ今後の対応の説明会(中央公民館) 34世帯64人が出席		被災者へ今後の対応の説明会(中央公民館) 社会福祉課・自治振興課が参加			
26日				火災対応会議 ※土地処理、義援金の取り扱い、瓦礫の解体・廃材処理、土地境界の確認など			
			光町1区自治会の緊急役員会 ※此花温泉の再建や、焼跡の瓦礫処理について 自治会から15人、市から8人が出席				
27日			温泉・公民館の再建についての協議		亀の井ホテルによる被災者への客室の無償提供終了		
27日		別府亀の井ホテルから被災者全員が退室			県建設業組合別府支部が、市に災害復興支援のボランティアを申し入れ		
29日					別府八湯温泉名人会が募集していた義援金受付期間終了		
30日		救援物資の受け取り(第2回)		救援物資の一斉配布(第2回)			

2月	31日				別府市補町の商業施設で「頑張れ別府市火災被災者応援もちつき大会」が開催。総勢120名が参加合わせて、商業施設の入り口やJR別府駅にて募金活動
	2日		火災対応会議		
	3日		大規模火災の対応について協議		
	8日				県建設業協会別府支部が、焼け残って倒壊の危険性のある建物7棟を取り壊す
	10日		被災住民への説明会 ※瓦礫の撤去や土地境界の測量に関して県建設業組合別府支部・県土地家屋調査士会説明、瓦礫撤去に関する同意書の説明		
	12日		義援金配分委員会の開催		
	16日		緊急運営委員会 ※復興策と火災による非常事態宣言		
	16日		測量作業への立会い		土地家屋調査士による焼け跡の土地境界線を確定するための測量作業開始
	19日	市消防本部が消火活動の経緯などを記した消防活動報告書をまとめる		此花温泉・公民館の再建についての協議 自治会長・市役所・温泉課・生涯学習課・自治振興課が出席	
	21日				別府市西小中学校で、光町復興のためのチャリティーもちつきが開かれる
	22日		義援金の申し込み開始	義援金の申し込み受付開始	
	25日				測量作業終了
	26日			火災対応会議	
	26日			義援金の口座振込み開始（第1次分）	
	28日		瓦礫撤去の同意書が全員分揃う (土地の関係者19件・建物の関係者21件・アパートや借家の住民16世帯分)		
3月	1日			火災対応会議	
	2日				瓦礫撤去について、市から建設業協会へ作業の申し入れ
	8日				瓦礫撤去に関する建設業協会別府支部の全体協議会
	8日				瓦礫撤去に関する建設業協会別府支部の打ち合わせ会議
	15日				県建設業組合別府支部による、現場での瓦礫の撤去作業開始
	30日			火災対応会議	
	30日			火災対応会議	光町分の瓦礫の撤去作業完了
	31日				被災者への義援金受付が終了
4月	1日				末広町分の瓦礫の撤去作業完了
	2日		火災対応会議		復元測量（杭打ち）の開始
	2日	光町1区の更地となった一面で、再建に向けた初めての地鎮祭が行われた			復元測量（杭打ち）の終了
	13日				別府八湯温泉まつりにて、光町復興のためのチャリティーオークション開催
	16日			義援金配分委員会の開催	
	16日		瓦礫の処理費用と土地境界線の測量費用が確定し、被災者の元に送付される	義援金の口座振込み開始（第2次分） 義援金の配分終了	
	26日		自治会総会(運営委員会)		
	27日		此花温泉・公民館の再建についての協議		
6月	15日		温泉建設用地売買成立		
7月	7日		此花温泉・公民館の再建についての協議		
	18日	市営住宅の無償貸与期間終了 ※今後も住み続ける世帯は有料になる		市営住宅の無償貸与期間終了 ※今後も住み続ける世帯は有料になる	
9月	21日				
	28日			此花温泉・公民館の再建についての協議	
10月	18日	此花温泉の再建工事開始		此花温泉・公民館の安全祈願祭	
	12日			自治会が温泉建設用地を市へ寄附	
12月	4日			此花温泉・公民館の棟上式	
2011年	1月		新年園芸振興式		
	13日		成人の日 成人お祝い		
	13日				火災から1年が経過
2月	13日	住宅2棟が再建途中、住宅10棟・工場1棟が完成 此花温泉・公民館が再建途中 1区画が駐車場へ舗装完了 自治会の倉庫予定地が舗装中			「別府光町・末広町大火復興支援 伊太山山岳兵衛チャリティーコンサート」が開催される

凡例

火災と復興の主な経緯 協議
行事 連絡 経過
支援
市への義援金 物資の支援
住居の支援 自治会への温泉復興寄付金
人的な支援 制度的支援



20m